



鮎のつかみどり



目次	議長・副議長あいさつ	2	市民のページ	15
	議案の審議から	3	クイズ	15
	代表質問	6	あとがき	16
	一般質問	8		

6月議会定例会において正副議長の改選・監査委員の選任(議会選出)および委員会構成の変更がありました

議長あいさつ



議長
栗原五男

市民の皆様には、日頃から市議会に対し、深いご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

この度6月定例会におきまして、多数の議員にご推挙いただき、市議会第10代議長に

就任いたしました。

折しも、本年は合併10周年を迎える年にあたりこの期に就任いたしましたことは、身に余る光栄であり、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

議会は、市民の皆様の代弁者であり、行政のチェック機関であり、意思決定機関であります。その先頭に立ち、市民の皆様信頼される議会をめざす所存であります。

本年は、10周年記念事業

ただき、副議長に就任いたしました。

その職責の重大さを痛感しており、微力ではあります。議長とともに議会の公正かつ円滑な運営に、誠心誠意、努力いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

折しも、本年は合併10周年を迎えますが「世代

副議長あいさつ



副議長
岸田秀樹

この度、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙い

を越えて、夢紡ぐまちの実現をめざして、市民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、頑張つて取り組む所存であります。

今後とも、市民の皆様方におかれましては、市議会に対し、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

折しも、本年は合併10周年を迎えますが「世代

各委員会構成

【常任委員会】

【総務常任委員会】

- 委員長 河野 利英
- 副委員長 岡田 光男
- 委員 細井 英輔
- 委員 岸田 秀樹
- 委員 近久 善博
- 委員 川村 辰夫
- 委員 栗原 五男

【文教厚生常任委員会】

- 委員長 相原 一永
- 副委員長 田村 修司
- 委員 塩田 智子
- 委員 藤原 一正
- 委員 枝澤 幹太
- 委員 増富 義明
- 委員 北川 麦

【産業建設常任委員会】

- 委員長 工藤 俊夫
- 副委員長 阿佐 勝彦
- 委員 岸田 益雄
- 委員 原田 由一
- 委員 高木 純
- 委員 福岡 正

【議会運営委員会】

- 委員長 近久 善博
- 副委員長 高木 純
- 委員 河野 利英
- 委員 枝澤 幹太
- 委員 相原 一永
- 委員 工藤 俊夫
- 委員 北川 麦

【議会広報特別委員会】

- 委員長 岡田 光男
- 副委員長 岸田 益雄
- 委員 塩田 智子
- 委員 阿佐 勝彦
- 委員 細井 英輔
- 委員 田村 修司
- 委員 増富 義明

【監査委員】

- 委員 増富 義明

▼ 薫風会

- 代表 河野 利英
- 副代表 枝澤 幹太
- 経理責任者 岸田 秀樹

▼ 志誠会

- 代表 工藤 俊夫
- 副代表 高木 純
- 経理責任者 田村 修司

▼ 郷土・麻植会

- 代表 藤原 一正
- 副代表・経理責任者 岸田 秀樹

▼ 民主クラブ

- 北川 麦

▼ 公明党

- 相原 一永

▼ 日本共産党

- 岡田 光男

▼ 新しい風吉野川

- 阿佐 勝彦

▼ 由美会

- 原田 由一

平成26年6月議会 定例会

議案の審議から

日程：平成26年6月2日～6月20日

6月定例会では、条例関係案4件、予算案1件、専決関係案5件、その他4件が提案され、
原案どおり可決・承認されました。

総務常任委員会

▼吉野川市税条例等の一部を改正する
条例について(専決処分)

質問

附則第16条の軽自動車税の税率の特例は、現行より上がるということが、それとも下がるのか。

税務課長

14年を経過した三輪以上の軽自動車税は、この特例により「20%」上がる。

◇以上異議なしで承認

▼平成25年度吉野川市一般会計補正予算
について(専決処分)

質問

今回の補正で、基金に「5億4628万7000円」積み立てるとのことだが、初めから基金として貯めようとして積み立てるのか、予算が余ったので積み立てるのか。

み立てる。

質問

いろいろな事業を執行し、その余った予算を積み立てると理解しているのか。

企画財政課長

それぞれの事業の執行残もある。特別交付税については変動が大きいため、当初予算ベースで

▼平成26年度吉野川市一般会計補正
予算について

質問

市制10周年記念市民手づくりイベント事業補助金は、18件採択されたとのことだが、採択されなかった件数と採択されなかった理由は何か。

企画財政課長

23件の応募があり、うち5件が不採択となった。その理由はその団体内での事業であるとかのようによろしくない事業と市の指定管理施設から申請のあった事業については、不採択とした。

◇以上異議なしで可と決定

は、例年入ってくる全額を計上することができない。特別交付税の金額が確定し、最終的に剰余金の見込額が分かった段階

で、翌年度以降の財政運営に利用していくため積み立てしている。

◇以上異議なしで承認



10周年記念市民手づくりイベント

文教厚生常任委員会

質問

小学校のスクールカウンセラーを2名に増員したことによる取り組み状況、成果、課題は。

学校教育課長

小学校にスクールカウンセラーを配置することにより、不登校児童生徒が約3分の1に減り一定の成果が出ている。もっと質を向上したいということと本年度から2名に増員した。5月時点の相談回数は前年度比で倍増しており、潜在的にニーズが高いと認識している。今後もケース会議や教員への支援などにも活用し、質の向上をはかっていきたい。

質問

障がい者就労施設等優先調達方針についての概要は。

福祉総務課長

優先調達推進法が平成25年4月1日に施行され、調達方針を定めることが求められている。本市では、前年度実績から指定管理・民間譲渡施設を除いた実績額の10%増で目標額を設定しており、今後、目標を達成できるように努めていきたい。

質問

山瀬公民館の改築に際し、完成予定図面を見ると駐車場の入口にプレハブが建っている。現在地に残した場合、多くの子どもが利用しているので安全面を危惧している。どうにか対応できないか。

子育て支援課長

今後、関係部局と協議し、児童の利便性・安全性を考慮した最善の方法を検討したい。

質問

川島こども園における幼稚園教員の配置について、教育委員会の見解は。

教育長

川島こども園の開園にあたり、昨年度までの状況と園児数も全く異なり、預かり保育も始まるなど、環境の変化に伴い幼稚園教諭の方々は苦勞をしていると思うが、この1年間職場の中でどれだけできるか、しっかりと子どもたちの教育に携わってほしい。

産業建設常任委員会

質問

ふるさと納税について、今年度5月までの実績は。

商工観光課長

平成25年度までの寄付金額は3522万277円で寄付者数は県内28名、県外627名の合計698名。平成26年度については、5月末現在で寄付金額が307万円、寄付者数が274名。記念品については、デコポン、ブルーベリーなどの生鮮食料品が人気となっている。

質問

ヨッピー・ピッピーのキャラクターグッズのうち、「ストラップ」と「ぬいぐるみ」の一部を販売することだが、作成個数と販売予定価格は。

商工観光課長

「ストラップ」は2000個で1個350円、セットで600円。「ぬいぐるみ」は各50個で、1個2200円、セットで4000円の設定で検討中である。

質問

前年度の市営住宅家賃の滞納状況の推移については。

都市計画住宅課長

平成25年度住宅使用料の現年度の状況は、滞納額は513万9600円、収

質問

納率は93・56%。過年度分については、滞納額は6661万4139円、収納率は5・04%である。

質問

今回裁判に踏み切ったが、これまでそういう毅然とした態度で臨まなかったためにこのような状況になっていると考える。今後も納めて頂くという姿勢を断固として貫くということを引き続きやってほしい。

市長

今後も毅然とした態度で臨んで参りたいと思っている。



休み時間の風景



キャラクターグッズ「ヨッピー・ピッピー」

代表・一般

ここが聞きたい

質問

6月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 田村 修司

- 市長の所信表明から
- 給食センターの活用について
- ブックスタートについて
- 介護保険制度について

② 河野 利英

- 市長の所信表明から
- 市管理の橋の補修について
- 合併10周年を迎えて

一般質問

③ 工藤 俊夫

- 防災・減災対策について
- 飯尾川の改修事業について
- 子どもの人権について
- 麻植協同病院等の工事進捗について
- 「吉野川市人権のまち宣言」の基本理念について

④ 相原 一永

- クラウドファンディングの活用について
- 地域の活性化・定住促進等、本市の課題解決について

⑤ 川村 辰夫

- 小・中学校の学力向上について
- 消防団を中核とした地域防災力の充実強化について
- 消費者教育について
- 少子化対策について

⑥ 塩田 智子

- 給食センターの運営について
- 幼保再編構想について
- 子育て支援センター(ちびっこドーム)の運営について

⑦ 高木 純

- 市内中小零細企業の現状と対策について
- 高齢者等の見守りネットワークについて
- 北海道仁木町との交流復活について

⑧ 阿佐 勝彦

- 介護保険事業の要支援・要介護の運用について

⑨ 岡田 光男

- 女性職員の管理職登用について
- 農林産物の魅力のPRについて

⑩ 藤原 一正

- 合併算定終了に伴う交付税について
- 麻植協同病院について
- 公園等への健康遊具の設置について
- 農地中間管理機構について
- 第6期介護保険事業計画について

⑪ 枝澤 幹太

- 学校教育について
- 子育て支援について
- 福祉政策について
- 美しいまちづくりについて

平成26年6月議会定例会

代表質問



田村修司
(志誠会)

ブックスタートに取り組んで はどうか

(質問)

事業効果、取り組み方法につ いて十分検討していく

(答弁)

◎質問

ブックスタートは、絵本を読むきっかけを全ての赤ちゃんのもとへ届けようという活動で、絵本を介して赤ちゃんと保護者が心をふれあわせる時間を持つきっかけをつくる。徳島県では現在14市町村が取り組んでいるが、本市でも取り組んでいるかどうか。

◎増富健康福祉部理事

その趣旨や事業の効果の検証、ニーズ、取り組み方法、財政事情も考慮しながら今後検討する。

◎再問

北海道恵庭市では、2001年からブックスタートを始めたことで成果があらわれ、2012年学校図書館を週4回以上利用する小学生は、5.5%で、全国平均の2.8%を大きく上回っている。読書は心を豊かにするだけではなく、学力にも影響する。

本市の小中学生の図書館の利用頻度はどのくらいか。また、子どもたちに本に親しませる取り組みを行っているのか。

◎寒川教育次長

学校図書館を週4回以上利用する割合は、小学生は1.9%、中学生は2.1%。本に親しませるための取り組みとしては、保育所、幼稚園に絵本コーナーを設置し、読み聞かせを行うと共に、絵本の貸し出しを行っている。

◎再々問

ブックスタートをすると50万円ほどの予算がかかるらしいが、ブックスタートをぜひやっていただきたい。

◎川真田市長

事業効果、取り組み方法について十分検討していく。

「その他の質問」

◎質問

本市幼稚園・保育園での英語教育の実施についての見解は。

◎教育次長

イベントや参観日に英語教室を開催する。

◎質問

人口維持、出生率向上のためにどのような施策を考えているのか。

◎産業経済部長

子どもはぐくみ医療費助成制度、育児用品購入費助成事業など、さまざまな事業を実施している。

◎質問

道路や河川管理施設、公共施設などの老朽化の状態について調

査および、補修計画を立てているのか。

◎総務部次長

各所管が策定している計画をふまえ総合的な管理を行う。

◎質問

学校給食センターを利用して高齢者に配食サービスはできないのか。

◎教育次長

時間的余裕や配送車両にスペースがなく非常に難しい。



絵本を読む子ども

◎質問
介護保険担当部署の人員強化策は考えているのか。

◎健康福祉部長
専門職の充実について検討が必要と考える。

◎質問
通所介護などの地域支援事業への移行はいつからするのか。

◎健康福祉部長
地域支援事業については、地域の状況や近隣市町の動向をふまえ行う。



かわのとしひで
河野利英

(薫風会)

合併後10年振り返っての思いは

(質問)

「新生」吉野川市の基礎固めが完了した

(答弁)

◎質問
本市は、徳島県で最初に合併し10年目を迎えている。
この間庁舎統合、空き庁舎利用、中学校・学校給食センター新築などの施設整備、温泉

施設の売却、指定管理制度の導入、職員数の削減などの行財政改革を進めると共に、子育て支援策として中学生までの医療費無料化、幼保一元化、学校再編計画の策定など10年を

振り返っての思いは。

また、合併市町村の山間部では過疎化に拍車がかかっているが、本市美郷地区では、減少率が少ないと報道があった。

今、人口の減少の抑制が課題であり、若者が好んで住めるまちづくりを進めるなど、今後さらなる成長に向けての取り組みは。

◎桑村政策監

合併以後「生んで育てて安心なまち吉野川市」の実現。ゲリラ豪雨や南海トラフ巨大地震への備えとして災害に強いまちづくり。創造性に富む子ども育成をめざし、快適で安心安全な教育環境の整備に努めてきた。
また、地域経済の活性化や快適に暮らせるまちづくりなど課題にも取り組む中で、無駄をなくし、将来にわたって、持続可能な行財政体制の基礎固めができたと考えている。

◎川真田市長

合併後、より重要度、緊急度の高い施策を優先して取り組み、大型公共事業の整備がほぼ終了し、「新生」吉野川市の基礎固めが完了したと思っている。

今後、市民の安心安全のための「防災・減災」や、「子育て支援」、「教育環境の充実」などに取り組みむことで、「新・生活創造都市」をめざし、「世代を越えて、夢紡ぐまち」実現に向け、さらに努力していきたい。

【その他の質問】

◎質問
10周年事業で採択された18事業の実施計画は。

◎政策監

メイン事業としては、10月31日に歌舞伎公演を予定している。

◎質問

川島こども園が開園し保護者、職員などの

反応は。

◎健康福祉部理事

園児達には一応好評を得ている。戸惑いはあるが、課題を着実に一つ一つ解決している。

◎質問

学校再編計画の説明会を実施した反応は。

◎教育次長

再編が急がれる「川田・美郷地区」では、P

◎建設部次長

「吉野川市橋梁長寿命化修繕計画」により橋梁の維持管理を行っていく。

◎質問

市が管理する橋の数と補修を進める計画は。

TA就学前の保護者とも、再編に積極的な意見が多い。



吉野川市役所 開庁式 (平成16年10月)

平成26年6月議会定例会

一般質問



工藤俊夫

土砂災害防止法などに基づく
本市の対策は

(質問)

重要課題として積極的に取り
組む

(答弁)

◎質問

林野庁の山地災害危険地区の指定は、山腹崩壊危険地区が50か所、崩壊土砂流出危険地区が141か所、地すべり危険地区が9か所ある。

また、県土木関係では、土石流危険渓流が83か所、地すべり危険箇所が34か所、急傾斜地崩壊危険箇所が421か所あることが判明している。

そこで、建築物の規制がかかっている土砂災害特別警戒区域は何か所あるのか。また、

指定されている箇所を地元関係者、自主防災会は把握しているのか。

◎野口防災局長

特別警戒区域は82か所で、指定される前に現地説明会を実施し、防災マップを全戸に配布しているので、一応把握していると考えている。

◎再問

都市の防災減災を高めるための土地利用の基準や、活断層や斜面地などでの工事中の安全確保、工事現場の防

災措置の基準を設ける必要がある。
防災・減災に対する取り組みは。

◎大久保産業経済部長

当該危険箇所の巡視などを行い、崖崩れなどによる危険の早期発見、危険箇所の実態把握に努め、土どめの設置や森林の整備など治山事業を計画的に実施したい。

◎松岡建設部長

土砂災害特別警戒区域内での特別開発行為については、今後、市民から申請などある場合、県と連携しながら対応したい。

◎再々問

土砂災害防止法によると、市町村は警戒避難体制の整備を図る必要があるとされている。市民の生命、財産を守るためにも関係部



土石流危険区域

局が連携して本市の最重要課題として対策を講ずるべきと思うが。

○河野副市長

本市には内水被害があるので、市行政組織を挙げて取り組む必要があると考えている。

○川真田市長

今後とも市民の生命、財産を守っていくために、県と連携を取りながら本市が進める対応をしっかりと実施していく。



あい
はら
かず
なが
相原 一 永

域学連携事業を取り入れてはどうか

(質問)

積極的に取り組む

(答弁)

◎質問

近年、大学生が地域の住民やNPOなどと共に地域の課題解決、または地域づくりに継続的に取り組み地域の活性化および地域の人材育成に資する活動が増えている。

こうした取り組みを

「域学連携」といい、過疎化や高齢化をはじめ、さまざまな課題を抱えている地域に若い人材が入り、都会の若者に地域への理解を促し、地域で不足する若い人材力を地域活性化

に繋げるものとして注目されている。

地域の活性化、定住促進をはじめ本市のさまざまな課題解決のため、この「域学連携事業」に取り組んでほしい。

○桑村政策監

本市は、平成25年11月に徳島大学との間に「徳島大学と吉野川市との連携に関する協定」を締結し、現在、具体的な連携

事業の内容について調査研究を進めている。

「域学連携事業」は地域の活性化はもとより、地域の人材育成にも資する有効な事業であると認識している。今後、他大との新たな連携も見据えながら積極的に取り組む。

◎再問

現在、徳島大学と本市で調査研究をしているようだが、やり方に

よっては、県内外の大学生が本市に入ってくることに、本市の魅力を発信してもらえ

るチャンスにもなり、中には本市で住んでみようかと思う学生もいるのではないかと。商店街の活性化、市特産品ブランド認証品販路拡大、次世代の産業人材育成、定住促進などに繋がる連携事業にしてはどうか。

○大久保産業経済部長

定住促進に関する施策は重要課題の一つである。大学との調整も必要となるが、連携事業の環境として実施するか検討する。

【その他の質問】

◎質問

※クラウドファンディングの活用で税金に頼らず、地域振興などに取り組んでほしいか。

※クラウドファンディング

不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと。

○政策監

既存制度との整合性も含め検討を進めたい。

◎質問

小中学校の学力向上のため、タブレット端末での※反転授業を取り入れてはどうか。

※反転授業

従来の授業と宿題の役割を反転させた授業の形態。デジタル教材などを利用して自宅で知識を習得し、教室では知識の確認や問題の演習などを行う。

○教育次長

学校現場とも協議しながら調査、研究したい。



高開の石積み講習会



川村 辰夫

消防団を中核とした地域防災力の強化は

(質問)

消防団員減少の抑制など対策を検討する

(答弁)

◎質問

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が公布、施行され、その中で消防団員の報酬、出勤手当が適切に支給されるよう必要な措置を講ずるよう規定されている。

まず①この規定に関し、総務省消防庁通知で金額が示されたが、その通知に基づく報酬見直しの考えは。
②消防団員が減少し、条约定数と実員数に違いがあるが、その差を埋める取り組み

は。

③円滑な消防団活動を行う上で、事業所側の消防団活動に対する理解と協力は不可欠であると思うが、本市での取り組みは。

○野口防災局長

①報酬などについては、近隣市町村の動向を踏まえ、諸条件など勘案し検討したい。

②消防団員の確保については、減少を抑制するため、広報誌などで入団促進に取り組んでいる。
③消防団と事業所の協力体制の推進について

は、吉野川市消防団協力事業所表示制度を創設し、現在10事業所に表示証を交付している。

◎再問

すでに条改正して報酬を見直した市もあり、早急に取り組まなければならぬと思うが。
また、本市全域に女性消防団員採用の考えは。

○桑村政策監

防災局からも意見を聞き、今後の対応を検討したい。

○野口防災局長

女性消防団員採用については、若手団員確保を基本姿勢としているので、さらに減少が続けば検討したい。

「その他の質問」

◎質問

消費者教育について、被害に遭わないための対策は。

○総務部次長

県消費者情報センターの出前講座事業などを活用し、定期的に研修を行っている。

◎質問

婚活支援についての考えは。

○健康福祉部長

社会福祉協議会で年2回イベントを開催しており、この事業を支援し成果を見極めたい。



消防団の水防訓練



塩田 智子

子育て支援センター(ちびっこドーム)を土曜日開放する考えは

(質問)

夏休みに合わせて8月から実施

(答弁)

◎質問

たくさん親子が利用している子育て支援センター(ちびっこ

ドーム)は、子育て家庭などに対する育児不安の相談や、指導がワンストップで対応できるなど、子育て全般に関する専門的な支援を行う施設として開設されたものである。子育て支援センターの運営および利用状況は。

○増富健康福祉部理事

本センターは、毎月親子連れが楽しめるいろいろな行事を実施しており、市内外から多くの子育て親子が訪れている。子育て中の家族が安心して、子育てと仕事の両立ができるように緊急的、一時的な保育ニーズに対応する、ファミリーサポート・センターの受付、調整も行っている。利用者数は、平成25年度は、1万349名、平成26年度4月の1か月では、1305名が利用。

◎再問

利用者から土曜日開放の要望があるが。

○増富健康福祉部理事

センターを利用して
いる方々から「土曜日も
開けてくれたらいいの
に」といった問い合わせ
や意見がたびたびある。
今年の4月から川島こど
も園が開園し、土曜保育
も実施され土曜日にも施
設が開かれているので、
実施できるように今後、
努力したい。

○再々問

土曜日開放の実施時
期について市長の具体
的な考えは。

○川真田市長

職員体制を考慮し、多
くの利用者が見込まれる
夏休みに合わせて、8月
から実施できるように指
示していく。

【その他の質問】

◎質問

給食センター内の安
全衛生管理方法は。ま
た、アレルギー対策
は。

○教育次長

厨房内と給食従事者の
衛生管理検査において常
時管理を行っている。ア
レルギー対策について
は、今後も万全の対応に
努めたい。

◎質問

消費税増税に伴う給
食費の値上げは。

○教育次長

全体の状況をみながら
対応したい。

◎質問

幼保再編構想は地域

○健康福祉部理事

「吉野川市学校再編計
画(素案)」説明会で説
明を行い、意見をいただ
いている。

◎質問

幼保再編構想の見直
しをするのか。また、
学校再編計画との整合
性を精査し、見直しを
すべきではないのか。

○健康福祉部理事

幼保再編構想に基づ

住民にどの程度周知で
きているのか。



ちびっこドーム

き、学校再編計画との整合
性についても調査を行い、
本市の子育て支援の充実
に向け、努力していく。



高木 純

中小零細企業の振興について
市の対策は

(質問)

地域企業の活性化のため地元企
業のデータベース構築を研究

(答弁)

◎質問

国会で「小規模企業
振興基本法案」が審議
されており、その基本
施策は、①多様な需要
に応じた商品・サービ
スの販路拡大、新事業
展開の促進、②経営資
源の有効な活用および
個人能力の発揮の促
進、③地域経済の活性
化に資する事業の促
進、④適切な支援体制
の整備、など具体的な
支援を地方自治体の責

務と規定している。

そこで、商工業およ
び中小企業振興に関す
る市の取り組みは。

○大久保産業経済部長

中小零細企業の振興に
ついて、中小企業信用保
険法によるセーフティ
ネット保証の認定事務や
徳島県信用保証協会や県
が実施している中小企業
向け融資制度の案内など
中小企業者に対する支援
を行っている。

◎再問

法律が無くとも、地
元中小企業の振興に力
を入れている自治体は
たくさんあり、企業誘
致にも成功し、地元企
業の流出も食い止め、
地域経済や雇用を守っ
ている。

施行されると市の責
務として法律に基づき
事業を推進していか
なければならない。
企業誘致を促進する
ためには、多くの協力
企業が必要である。幸
いにも本市は独自の技
術を持つ企業が多くあ
り、それぞれの地場企
業の業務内容を調査
し、どのような技術を
持って、製造・販売な
どを行っているのか、
企業の特徴を把握し
て、データベース化す
ることが中小企業の振
興、企業誘致に繋がる
ので早期に調査研究を
進めるべきでないか。

○大久保産業経済部長

地域企業データベース
については、企業間の情

報交流や取引先の拡大、事業のパートナー探しに活用できるものと考えている。

今後、企業や商工会議所、商工会などの関係機関と十分協議し、企業情報の内容や活用策などについて調査研究したい。



阿 佐 勝 彦

農林産物の魅力のPRについては

(質問)

安全・安心の農林産物、本市独自の地域産物の魅力をPRしていく

(答弁)

◎質問

地場産業の魅力を知ってもらうために、道の駅建設要望と並行した地場産業の育成が重要かと考えている。そこで、①本市での農林産物の種類は。②ふるさと納税での

人気特産特産品は。

③市と生産者との連携は。

また、本市で野菜の契約栽培を行う場合、支援制度などはあるのか。

○岡田産業経済部次長

①本市で生産されている

る産物の種類については、生産量の少ない品目も合わせると、野菜で67品目、果実で22品目、林産物で3品目が生産されている。

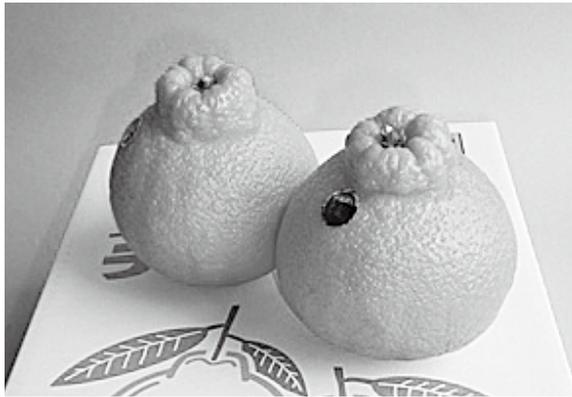
②ふるさと納税の特典で人気のある特産品については、平成25年度の実績として、生鮮食品類が77・1%と最も多く、その中でも期間限定ではあるが、一番人気があったのはデコポンで、その他は、ブルーベリー、キウイフルーツ、ブドウ、乾燥しいたけとなる。

③市と生産者との連携

については、農林業の振興の推進のため連携を考えている。野菜の契約栽培については、個々の契約により行うのが通例となっており、支援制度はない。

◎再問

本市では「ブランド認証制度」を設けているとのことだが、農林産物についても本市の特色を生かしたPRは。また道の駅を考えるチームができないのか。



ふるさと納税特産品

○岡田産業経済部次長

農林産物の安全・安心の源は水であり、その吉野川の恵みを受けた農林産物を、本市にしかない独自の地域産品としてPR

し売り出すことを含め、生産者ともども研究したい。道の駅建設を考えるチームについては、関係部署に伝えていきたい。



岡 田 光 男

農地中間管理機構で耕作放棄地の解消になるのか

(質問)

市外にも農地情報が提供され解消に役立つ

(答弁)

◎質問

日本の農業を集約、集積して強い農家をつくるなどの目的で、各県に農地中間管理機構が設立された。耕作放棄地の解消にもつながるともいいますがその役割は、また従来の農地バンク制度との関係はどうなるのか。

○岡田産業経済部次長

農業の縮小や廃止を計画している農地を、10年以上にわたって借り受け、担い手に土地を貸し付ける役割がある。

機構が市内だけでなく広く借り受け者を公募し、地域外の農家や新規参入希望者に対しても農地情報が提供される事に

◎再問

時期については春先にこだわっているわけではない。他団体の実施状況を見ると時期の変更は可能であると思われることから再度検討するべきではないか。

次に、学校給食の取り組みについては、残食率が20%であったと聞いている。給食は発達段階に応じた栄養バランスを考慮しつつ、適切な量を提供し、食育の推進を図ることが重要であると考えます。

そこで、残食の減量化の取り組みの成果と本年度から実施されている幼稚園での給食実施状況は。

○寒川教育次長

運動会実施時期については、子どもの健康、安全を第一に検討を再度学校に指示していきたい。

また、給食については、昨年度と今年度の4月時点で残食量は約2%減。今後も、国の学校給食実施基準による児童・

生徒1人当たりの給食摂取基準を踏まえた栄養バランスを配慮しつつ、感謝の気持ちを大切に残さず食べる指導を行うと共に、定期的に残食量の調査を実施していく。



枝 澤 幹 太

川島こども園の今後の検討課題は

学校、地域と連携しながら、誰もが親しみを持てるこども園の運営をめざしていきたい

◎質問

子育て支援の拡充に向け、4月に開園した川島こども園は、川島地域内の2つの幼稚園、2つの保育所および乳児保育所を統合し、旧川島庁舎を活用した幼・保連携型認定こども園である。開園より2か月あま

に、定期的に残食量の調査を実施していく。幼稚園については、スタートから特に問題なくスムーズに運営できている。

(質問)

(答弁)

りが過ぎ、利用者だけでなく、地域の方など、さまざまな課題があると考えられるが、その課題と対策は。

○増富健康福祉部理事

現在193名の園児が通園している。幼・保連携型こども園の特徴は、各行事が幼保一体的に実施で

きる事である。

検討課題としては、小中学校および地域との連携である。小学校では運動会に幼児、児童が参加できる種目を計画し、中学校では、就業体験学習で園児、職員との交流を図る。

地域との交流として、ちびっこドームを有効活用し、子育て世代との交流を進める。また、地域老人クラブ、地区社協、青少年育成市民会議などと世代間交流の推進を図る。

苦情などの解決については、第三者委員会、評議委員会を設け、社会的や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した対応を推進し地域に開かれた誰もが親しみを持てるこども園の運営をめざしていきたい。

◎再問

川島こども園の職員は適正配置されているのか。現在、5歳児2クラス、4歳児2クラスに正規職員が各担任し、

7名の臨時職員が4クラスの副担任となり、あとの3名が預かり保育に従事している。預かり保育には1名の正規職員が従事しなければならず、4・5歳児の統括が手薄になっているのではないかと。

○増富健康福祉部理事

川島こども園は開園して2か月が経過したところで、課題や問題を抱えているが、職員が一丸となって取り組んでいる。今後、不都合な場合や課題が生じる場合は、組織体制の見

直しも検討したい。

「その他の質問」

◎質問

障害者福祉の市としての取り組みは。

○健康福祉部長

社会参加が確保される共生の町をめざしたい。

◎質問

障がい者の雇用方針は。

○総務部次長

障がいを持つ人が働ける職場について検討したい。



川島こども園

市民のページ

「青松園を訪ねて」

工藤 直己

高松港から8km程沖の小さな島に、ハンセン病の国立療養所「大島青松園」があります。先日徳島新聞の日曜コラムに書いてあるのを見て、ふと思いつきました。もう10年も前になるかと思いますが、

庭に出て展示場や納骨堂や鎮魂のモニュメント「風の舞」などをゆっくり巡りました。

が納められていました。故郷にも帰れず亡くなったという患者さんに風に乗って自由にお帰りなさいという思いがこめられ

た。瀬戸の海を見下ろす納骨堂には2100人が共に眠っている様です。そのなかには引き取り手のない骨壺が数えきれない位並べられていました。

1996年まで患者の強制が続いたという、その誤った隔離などによって患者や家族は偏見と差別に苦しめられてきました。「老いが進み平均年齢80歳を超えて故郷にも帰れず家族とも離れて寂しく…でもどの人も青松園で最後まで安心して暮らしたいと願っている」と編集委員の方は書かれて

いました。死んでも故郷の墓に埋葬してもらえないという現実を目の当たりにして何とも悲しい気持ちになりました。「風の舞」も石で造られた円すい形の中にも多くの遺骨

の余波で波が高く、高松港から波にゆられて着きました。岸壁に徳島県人会長の松浦様が迎えに来てくれていました。瀬戸内海を見渡す真ん中に明治42年に開園した青松園はありました。徳島県人の方々からいろいろ苦

勞されたお話をお伺いしました。私達はとても穏やかな口調でのお話を涙なしには聞けませんでした。そして昼食はこちらから持参したお弁当を一

緒に食べました。その後

庭に出て展示場や納骨堂や鎮魂のモニュメント「風の舞」などをゆっくり巡りました。

瀬戸の海を見下ろす納骨堂には2100人が共に眠っている様です。そのなかには引き取り手のない骨壺が数えきれない位並べられていました。

1996年まで患者の強制が続いたという、その誤った隔離などによって患者や家族は偏見と差別に苦しめられてきました。「老いが進み平均年齢80歳を超えて故郷にも帰れず家族とも離れて寂しく…でもどの人も青松園で最後まで安心して暮らしたいと願っている」と編集委員の方は書かれて

ました。死んでも故郷の墓に埋葬してもらえないという現実を目の当たりにして何とも悲しい気持ちになりました。「風の舞」も石で造られた円すい形の中にも多くの遺骨

が納められていました。故郷にも帰れず亡くなったという患者さんに風に乗って自由にお帰りなさいという思いがこめられたそう

です。この事を聞いただけでも胸がはりさける様な気がしました。帰りには、船に乗り別れぎわまで松浦様が見送ってくださいました。どうぞお元気でとお互い手を振ってお別れしたのが、昨日の様な気がします。どうか皆さまもいつまでもお元気でいてくださいと願いつつ船は高松港に向かいました。

残念ながらその当時お話をいただいた松浦様も4年前にお亡くなりになったとお聞きました。川

真田先生何年たっても青松園に連れていっていただいた事忘れていませんよ。本当にありがとうございます。お2人のご冥福をお祈りいたします。

残念ながらその当時お話をいただいた松浦様も4年前にお亡くなりになったとお聞きました。川真田先生何年たっても青松園に連れていっていただいた事忘れていませんよ。本当にありがとうございます。お2人のご冥福をお祈りいたします。

クイズ



お菓子の名前です。

漢字をひらがなに直してください。
※④は送り仮名も含めてください。

- ① 餡蜜
- ② 外郎
- ③ 最中
- ④ 銅鑼焼き
- ⑤ 善哉
- ⑥ 花林糖
- ⑦ 黍団子
- ⑧ 羊羹

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎ 応募要項 はがき、またはFAXに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎ 送り先

〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL(0883)22-2241
FAX(0883)22-2242

◎ 締切日

平成26年9月30日(消印有効)

チョットひと言

☆来年は選挙権を持つ20歳の成人になります。一人前の大人になって、役に立ちたいと思っています。(山川町 三木さま)

☆吉野川市祝10年！これから20年も30年もずっと続く良い市であってほしいと思います。(鴨島町 大山さま)

☆先日、修学旅行で沖繩へ行つてやんばるくいなを知りました。(鴨島町 河野さま)

◎ (前回の回答)

- ① あひる
- ② きつつき
- ③ ひばり
- ④ いんこ
- ⑤ きし
- ⑥ ふくろう
- ⑦ かもめ
- ⑧ やんばるくいな

【応募総数】65通

募 集 要 項

表紙の写真

募 集



テーマ 吉野川市で撮影した
季節の風景や祭り、行事など。

規定 モノクロおよびカラープリント
2L判～四切・W四切組
写真も可(3点まで)
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

締め切り 平成26年9月30日(消印有効)
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。

その他 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。

応募先 〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

市民の皆さんの声を掲載

… 規 定 …

●400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

●締め切り
平成26年9月30日(消印有効)

*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。
校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

： 〒776-8611
あて先 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
： FAX (0883) 22-2242

※次回の議会だよりNo.40号から、発行日が2週間ほど早くなります。

あとがき

無農薬栽培に興味を持ち、無農薬に加えてもう一つ付加価値のついた農産物を作ることができないものかと右往左往しています。数年前から友人のお父さんから譲り受けたフィリピン原産の山辛唐辛子の栽培を細々と続けています。



山辛唐辛子

この山辛唐辛子は、戦時中フィリピンにいた方が、現地の方々との交流の中で、唐辛子種子を持ち帰り三好市井川町で栽培を続けてきたもので、東南アジア独特のただ辛いだけではなく、温まりのある味の唐辛子です。

今年、チャレンジしていただける方々とはじめて共に播種し、栽培をしました。できれば山辛唐辛子を商品化し、吉野川市の特産品の一つとなればと思っています。

阿佐勝彦

栽培は、4月下旬ごろ定植し、下から出るわき芽を掻ぎ3本程度を育てます。白い花が咲き、唐辛子となりますが、収穫までには時間がかかります。しかし、畑に放せば後は追肥や水やりくらいです。

編集委員
委員長 岡田 光男
副委員長 岸田 益雄
委員 塩田 智子

委員 阿佐 勝彦
細井 英輔
田村 修司